

野村のイチロー論 (幻冬舎単行本)

野村の イチロー論



野村克也

Katsuya Nomura

幻冬舎

発売日: 2018年1月10日

出版: 幻冬舎

著者: 野村克也

ページ: 164

PDF

正直に言う。私はイチローが好きではない。
しかし、彼の才能に最初に目をつけたのはこの俺だ。
名將がはじめて書いた 天才イチローvs凡人野村 究極の野球人間論

【もくじ】

第1章 イチローは本当に天才なのか イチローのバッティングを分析する
天才とは何か / 選球眼ならぬ「選球体」 / 変化球を待ちながらストレートを打つ /
つまらせるのも技術のうち? / イチロー・ルーティーンに意味はあるのか? / 努力の天才
ほか

第2章 イチローと私
「ええ選手やな……」 / 首脳陣に否定された“振り子打法” / 「お手上げです」 /
イチロー攻略法はあるのか / もしイチローがヤクルトに来ていたら…… ほか

第3章 イチローがメジャーに与えた衝撃
海を渡ったはじめてのバッター / スモール・ベールボールの復権 /
ワンバウンドをファールして、「もらった！」 / “持っている”男 ほか

第4章 イチローの「言葉」を読み解く
「結果はあとからついてくるという感覚は、たぶん持てないだろうし、持ちたくもない」
「楽しんでやれとよく言われますが、僕にはその意味がわかりません」
「僕のなかのスランプの定義というのは、感覚をつかんでいないことです」
「初心を忘れないことっていうのは大事ですが、初心でプレーしてはいけないのです」 ほか

第5章 イチローはONを超えたのか?
首位打者に左バッターが多い理由 / イチローが憧れた天才 / 二代目ONの器だった松井 /
攻・走・守 すべて超一流はイチローだけ / “人の気”をつかめなかった落合 / イチローはO
Nを超えたのか ほか

第6章 イチローは変わったか
イチローを認めなかった私 / フォアボールはつまらない / チームで浮いていたイチロー /
マスコミ軽視はファン軽視 / 原因は仰木に甘やかされたこと / WBCで変わったイチロー ほか

<http://yep.pm/XX5ESSwi5/3fyNDhvlo.pdf.rar>